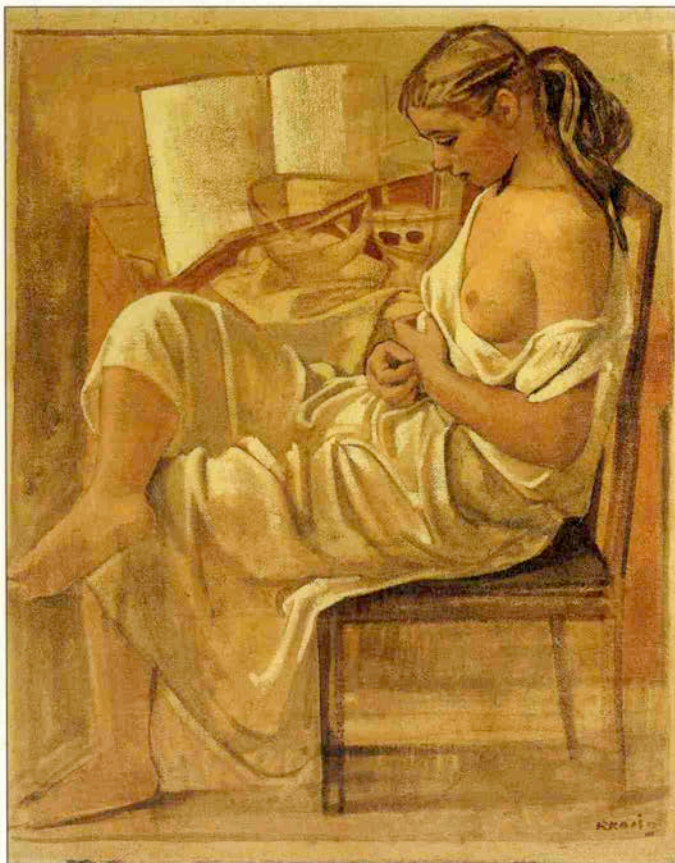


THE KOBEC CO

DECEMBER No. 332

1988 *12* 月刊神戸っ子

神戸っ子 昭和40年1月20日 第三種郵便物認可
昭和63年12月1日印刷 通泰332号 昭和63年12月1日発行
毎月1回1日発行



CLASSICAL MODERN



Christian Dior

讚美歌が流れる空から、
白い天使たちが舞い降りてくる。
今宵は、祝祭の宴。
ロマンスの予感、赤いドレスが語りしてくれる。

夜会の女王に、シャンパンを。



BENIYA

KOBE OSAKA TOKYO

KOBE ● 本店 三宮センター街 ☎078(332)2135-6 エルベ店 センタープラザ1F ☎078(332)2829 レノマ店 三宮センター街 ☎078(332)0780-0788

さんちか店 さんちかローザアベニュー ☎078(321)2678-9 シャコック店 三宮本通り ☎078(332)4858

イウ・サンローラン店 神戸そごう本館3F ☎078(261)2922

OSAKA ● 三番街店 阪急三番街 ☎06(374)0137 ナビオ店 NAVIO阪急3F ☎06(316)1303-4 ミナミ店 虹の街5-3号 ☎06(213)6128

近鉄店 上本町近鉄百貨店3F ☎06(773)1117

TOKYO ● 銀座店 ニューメルサ1F ☎03(574)8012 銀座エルベ店 銀座メルサ1F ☎03(564)5625 自由ヶ丘店 ニューメルサ自由ヶ丘1F ☎03(724)8888

日比谷店 日比谷シャンテ1F ☎03(501)1871-1872

誇り高い女性たちよ。



designer, copywriter, planner, manager…………… erのつく女性が、輝いています。
 erは才能、erは主張。自信と誇りを、さまざまなライフ・シーンに映し出して自分らしさを
 主張する女たち——ersへ。上質素材をベースに、格調高く若々しいスタイリングを発
 信します。オン・ビジネス、オフ・ビジネス、プライベート。3つのライフ・シーンに焦点を絞っ
 て逸品の香り高く、ニュー・プレタポルテ“アルズ”いよいよデビュー。

1
月別

神戸 1/9-13 東京 1/24-26 福岡 1/31-2/1

ers
"SQUALL"

ISHI MAISON
"TECHNOCOLOR"

baiou
"FRENCH REVOLUTION"

2
月別

神戸 2/6-10 東京 2/21-23 福岡 2/28-3/1

INTERNATIONAL
"ETHNIQUE COUTURE"

ist collection
"BAINS"

Merry
Christmas



 KINOSHITA
PEARL
CO., LTD.

Order Salon

株式会社 木下真珠

〒650 神戸市中央区山本通1丁目7-7(北野坂)

TEL (078) 221-3170

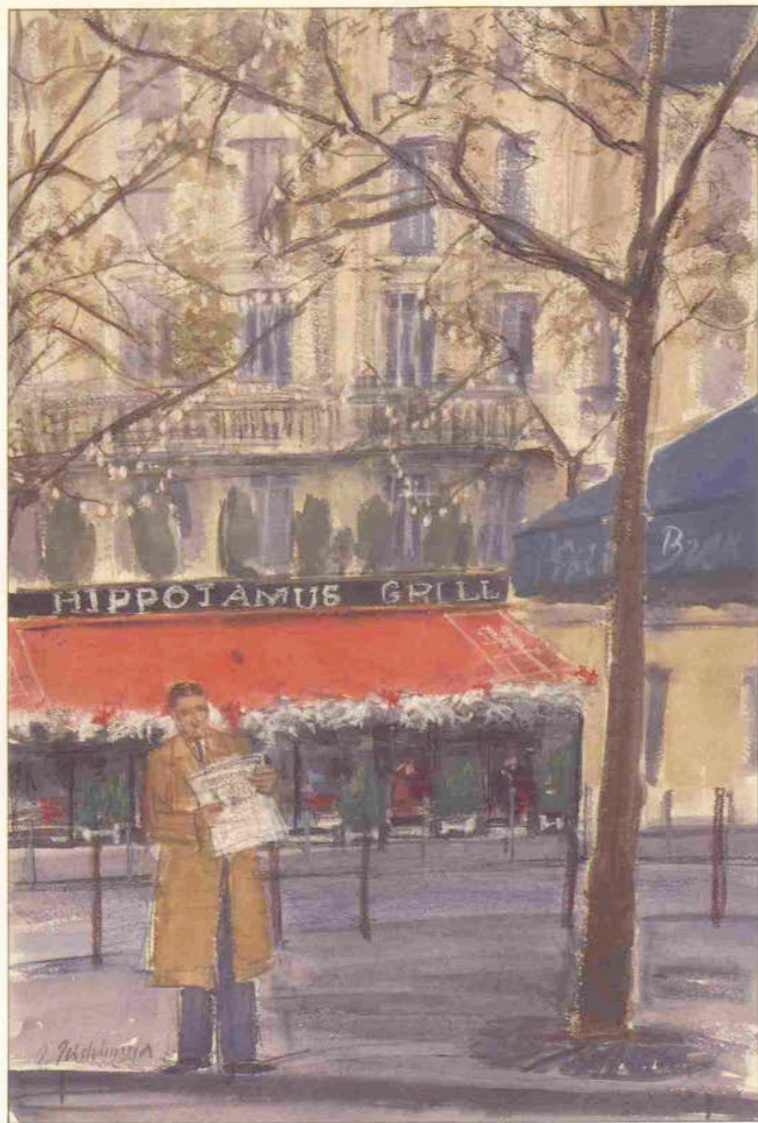
10:00AM~6:00PM 12/28~1/3は休ませていただきます。

東京 / 赤坂・銀座・青山 大阪 / 心斎橋



'88年のフィナーレはパール輝やきで……

● リング、ネックレス、イヤリングなど、プレゼントにもぴったりのお手頃な商品を豊富に取り揃えています。



Second Cover ● ヨーロッパの街角から (12)
クリスマスのパリ (1988年) 絵／西村 功

アーク
ARC HOUSEでおしゃれな時を
 ハウス

舞子ゴルフ場の山麓に、車を止めて立ち寄れる「ARC・HOUSE」は、明るくさわやかな神戸らしいファッション空間です。

20代からのおしゃれな女性たちに、いきいきとシンプルなファッションライフを提案します。



ARC
 HOUSE

2-29-2 HONTAMON
 TARUMI-KU
 KOBE
 TEL. 078-781-2378



CINE-GLASSES Collection

ホワイトクリスマス



伝統の流れに新しい水を汲む

神戸眼鏡院

元町店 / 神戸市中央区元町通3丁目

TEL (078) 321-1212 (代)

三宮店 / さんちかローザアベニュー

TEL (078) 391-1874 ~ 5

クリスマスは吠えるような輝きで——



Tajima
宝飾店 タジマ

元町2丁目 TEL 331-5761 代表

糸が織り成す「妙」

梅岡みちこ（染織作家・カメラ・松原卓也）

一本の糸、その集合としての生地をみつめる。そのそれぞれの繊維はひとつひとつが自分自身の色や風合、光沢を持ちながら、また全体の生地として色の妙、複雑な光沢といったものを放ち始める。だから面白いのだそう。

梅岡みちこ——彼女は神戸の六甲に生まれ、現在 灘に住んでいる。

現代手織研究所を経て、87年に独立したのだが、もともと画家志望だった彼女の転機は、多感な年令ともいえる18歳の時にあった。友人に勧められて京都でタビストリーの展示会を観たのがきっかけとなった。その時の感動は、今もなお彼女の源動力となっているのだが、恐ろしく衝撃的なものだったそう。

今は織工房「艸」（SOU）で意欲的な創造を続ける傍ら、11月中は「TEI TEI」での作品の展示、それが終わるとすぐ「ギヤラリー・バルパローレ」で織展を開く等、バイタリテイあふれた活動をこなしている。

「一本一本の糸がさまざまに織り成って出来上がるものですから、本当に満足いくものを創るのは難しい。でもそれだから嬉しいんですね。」小柄な体で大きな夢へ向けての創造はまだまだつづきそうである。

（中国料理「TEI TEI」にて）



きらり、ドレスと素肌。

パーティシーズン到来です。

神戸レディスサウナの

首すじ、肩、背中、ひじ…

エステティックは、薬草浴で

ふだん隠れたお肌の

血行と新陳代謝を促して、十分に

お手入れにも

リラックスした肌へ行きます。だから、

力を入れて

栄養分の浸透もスムーズ。

ください。

ソワレを着る日のために、ぜひ。

- マッサージ / 2,800円 ● オイルマッサージ / 5,500円
 - 薬草パック美顔 / 4,500円 ● パラフィンパック美顔 / 4,500円
 - トリートメントパック美顔 / 5,500円 ● ボディパラフィンパック / 6,000円
 - エステティック・ツイン (美顔と全身のオイルマッサージをセットに) / 9,000円
 - 薬草浴をとり入れた6つのバスのサウナコース / 1,900円
- サウナ ● ハーブサウナ ● 冷水超音波バス
温水パイプバス ● ハーブバス ● マッサージシャワー

年末は30日まで 新年は元旦正午より営業

サウナとエステティック 神戸レディスサウナ

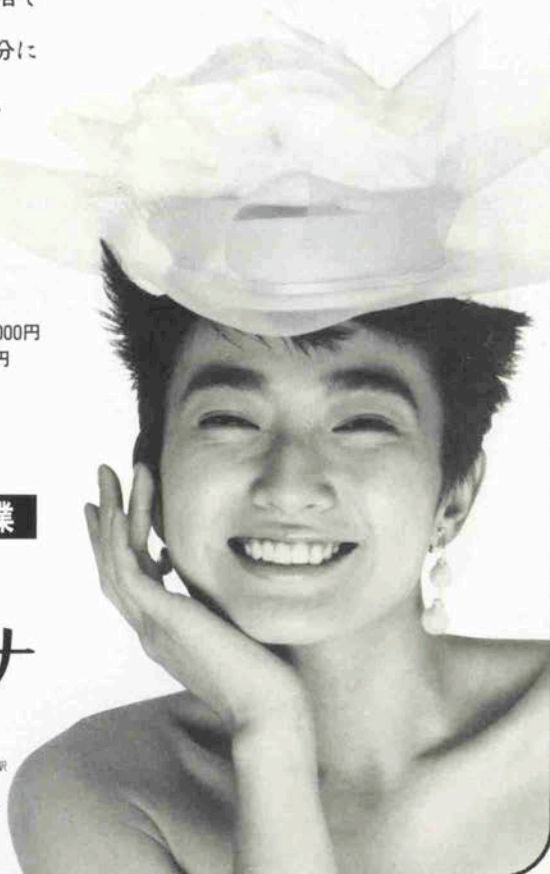
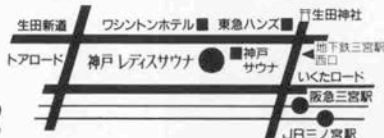
神戸市中央区下山手通2-2-10

● ワシントンホテル向かい

営業時間 朝10時～夜3時

年中無休

TEL.078-321-4742



音楽界のサラブレッド

渡邊康雄

（指揮者
ピアニスト）

カメラ・池田年夫

今年4月、神戸室内合奏団の常任指揮者に就任。お会いしてびっくりしたのは、そのりっぱな体格。しかし物腰、話しぶりは大変スマートで、洗練されている。8年に渡るアメリカ留学のためもあるだろうが、やはり血筋の良さというものだろう。

名指揮者渡邊暁雄氏の長男として、1949年東京に生まれる。芸大附属高校作曲卒業後渡米。ピアノ科に移籍。帰国後1972年に父暁雄氏の指揮をバックに、ブラームスのピアノコンチェルトの演奏で華々しくデビュー。ピアニストとしてのキャリアを積みながら1982年に徳島交響楽団を振って指揮者としてデビュー、マエストロへの第一歩を踏み出す。

年10回の演奏会を振る予定だが、「とてもあたたかい聴衆ですね」と神戸の印象を語る。「それに想像していたよりも空気が良くて、街を歩く人がとてもおしゃれなので、そういうイメージに合った合奏団にしたいですね。フルオーケストラにはない、室内合奏団ならではの魅力を引き出せたら……。イムジチの「四季」があつて、神戸室内合奏団の「四季」があつてもいいんじゃないですか」。

今後とも指揮者、ピアニストの二足のわらじを続けるが、どちらも一流のわらじだ。（神戸文化ホールにて）





ある集い□キング・クレゾール・ジャズバンド

五十年前のサウンドの
再現をめざして
信原克哉（信原病院院長）

かねてから念願であったバンドが結成されたのは七年前のこと。目指すのは大好きなサンフランシスコスタイルのトラディショナルジャズ、一九四〇年代に、凋落していたニューオリンズジャズを西海岸で復活させたルウ・ワターズと彼のヤーバ・ブエナ・ジャズバンドのサウンドである。

メンバーはクラリネット（私）、ピアノ（娘・医大生）、ホルネット二本、トロンボーン、バスサックス、チューバ（麻酔医）、パンジョー、トラップスの九人編成で全員、病院職員や友達。一九〇〇年代初頭に活躍したキング・クレオール・ジャズバンドと、消毒液のクレゾールをもじってキング・クレゾール・ジャズバンドという名前を旗印に今迄に海外ジャズフェス参加三度、LP二集出版、医学会レセプション、神戸ジャズトリート。全日本デイキシーランドジャズフェス、中学生のための音楽会等での演奏活動を続けている。本年七月にサンフランシスコ郊外に一人ひっそりと住むルウおじさんを訪ね楽しく歓談して、彼の前で彼の作った曲を演奏するという素晴らしい機会に恵まれた。トラッドジャズで人生を楽しめ。



ある集い □ Modern Dance Groupe TANPOPO

スファルトのさげ目にも花を咲かす。モダンダンスも自分自身の心があればどこにいても、どんな環境の中でも踊りをおどることができると。そんな気持からグループの名を付けました。

今年、藤田佳代のリサイタルの年、全員この会にむけて情熱を燃やしてきました。とりわけ新作の「松が錆びた」には緊張してとりくみました。何といたしても生と死の問題をかかえているのですから。

今、六甲の松がどんどん枯れていきます。もう真つ茶色に錆びついて、いつたおれるかしないものもあります。その枯れた松につたがはいのぼり秋の朱や赤の太陽の光を身にまとい、美を競い合っている光景がみられます。松とつたは天空にむかってどんな詩をうたっているのでしょうか。

スタジオの南のクリーニング屋のドアを開けた時、御主人がおばあさんの指に薬をぬってあげていました。お齡は90才のこと。指がわれていたのだそうです。「なあんにもでさんとやつかいばかりかけて」「なあんにもせんでええんや、おつてさえくれたら」この会話を洗濯物の受け渡しの間になさいました。ここでも美しい詩がうたわれていました。「松が錆びた」は命あるものの天へむけての永遠の祈りなのでしょう。

連絡先

神戸市東灘区魚崎北町字丁目十元
☎(〇七八)四五二二九一五

表紙の人
M・ダグラス



新しい関西を創造する総合雑誌

オール関西

好評発売中 ¥580 (年間購読 ¥8,000) 12月号

関西の全てがわかる
ニュータイプの情報百科



好評発売中
¥6,000

ビックインタビュー



片岡仁左衛門
〈歌舞伎役者〉

特集

世相巷談

- 合田雄次 (京都大学名誉教授)
VS 桂文珍 (落語家)

特別企画

- ころを贈る
お歳暮
- CI 作戦にみる
企業のチャレンジ・マインド
- 年末年始の
ホテルライフ



- クリスマスグッズ
ショッピング
- 幹事さんにおすすめ
忘年会ガイド

関西展望

美術特集

- 乾由明・高橋亨
木村重信・増田洋

好評連載中

- 経済人インタビュー
- カルチャーカレンダー
- 日本人の宝との出会い
- ワインの話



① オープニング国際パレード (神戸市) ② 美術展 (神戸市) ③ ジャパンカップ・ジャズダンス (加古川市)
 ④ 水と緑のハーモニー合唱の祭典 (西宮市) ⑤ ひょうご演劇街道 (尼崎市) ⑥ ライブ・ファッション・コンテスト (宝塚市) ⑦ 全国ウッドクラフト公募展 (柏原町) ⑧ 全国太鼓まつり (姫路市) ⑨ 民謡の祭典 (神戸市)

★芸術の秋華やかに彩る 第3回国民文化祭ひょうご88

● コウベスナップ

“文化の国体”として各都道府県持ち回りで開催される「国民文化祭」。今年は10月22日から11月まで、兵庫県で開かれた。神戸らしさあふれる国際色豊かなオープニングパレードを皮切りに、様々な顔を持つ兵庫の特性を生かしたバラエティ豊かな催しが各地で繰り広げられ、芸術の秋を大いに謳い上げた。

新しきクリエイター

美の小箱

宮崎豊治

文・増田 洋 〈美術評論家〉

宮崎豊治は、簡潔な形態と確実な構造を意識する作家である。最近、彼の作品はこれまでの作品に比較して、一種の情感が加わるようになった、と私は感じている。

その感触を確かめるため、トアロード画廊の個展に出向いた。作品は壁に数点、床に数点置かれていた。画廊の中央にある椅子に腰かけたままで、目線を少しづつ移すと、壁の作品も床の作品もまことに案配よく見える。展示がうまくできているからではなく、作品の性質がその案配のよい見栄えをもっているのである。舞台の役者が八方睨みをしているようなくあいと思つて欲しい。

作者の眼と身辺にあるものの関係ということを、宮崎豊治は折にふれて語っているが、今回の個展を体験して、ようやくその言葉の背後にある感触が、私の腑に落ちた。その瞬間から、記憶に残っている彼の過去の作品が全く新しいものに変つたのである。

腑に落ちたと思つたとき、すぐに連想したものは、ル・コルビジエのモデユールのことであつた。造形の形態と構造を、数学的尺度に立つて感じるのではなく、人間の尺度に立つて感じる空間として認めたとき、宮崎豊治に表現に連動する私の共感が生まれた。

作者の眼と身辺にあるものの関係の表象に対して、私の眼とその表象との関係が生まれてくる。画廊の中央にある椅子に腰をかけたことで、新しく生じた関係が現実のものになつた。椅子に腰をかけたことで、私の肉体が反応し、私の視覚をヒューマンスケールを計測する視覚へと転換させたのである。この感触を私は忘れたくはない。



眼下の庭
宮崎豊治



写真提供 /
トアロード画廊

- 1946年 金沢生まれ
- 1968年 金沢美術工芸大学卒業
- 1970年 信濃橋画廊（大阪）での第1回目の個展
- 1973年 日韓現代彫刻展（兵庫県立近代美術館）・京都ビエンナーレ（京都市立美術館）他
- 1975年 現代の造形（大丸京都店）他
- 1976年 アート・ナウ'76（兵庫県立近代美術館）他
- 1977年 現代美術の鳥瞰展（京都国立近代美術館）
- 1978年 第6回神戸須磨離宮公園現代彫刻展・トアロード画廊での第1回目の個展
- 1981年 アート・ナウ'70~'80（兵庫県立近代美術館）・20人の方法展（大阪・信濃橋画廊）
- 1983年 「鉄」展（神戸・サンバル市民ギャラリー）・日本美術交流会展（上野・松阪屋）
- 現住所 神戸市長田区萩乃町2-2-1